明治四十四年十二月廿五日發行
毎月一回廿五日發行

婦人新報

第百七十四號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十四號

目次

○社説
○年末の感
○是れ實地の問題也　島田三郎君
○異國の人に對する同情　安井哲子
○宗教キリスト教者の幸　外村義郎君
○家庭欄
審座　記者の一人
婦人用名詞の由來　矢島楫子
○折にふれて　しづ子
○誠實なきの事業には生命なし　木下尚江君
○一本の箭　百合子
○故小林富次郎氏の傳を讀みて　戸川秀子
○工女欄　三浦てい子
○内外通信
本部、大阪、金澤、麴町、靜岡

社告

◎婦人新報定價（郵税共）

一部（前金）　金六錢
六部（前金）　金三十五錢
十二部（前金）　金七十錢
（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）　金十錢

明治四十四年十二月廿四日印刷
明治四十四年十二月廿五日發行

發行兼印刷人　矢島楫子
編輯人　高階?宰

發行所　東京市麴町區上二番町卅三　矢島方　婦人新報社

編輯及事務所　麴町區上二番町卅三　矢島方

No. 174　　December. 1911

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

GRATITUDE.
Parting an Old Year.
This is not an ideal but a true fact.
Sympathy.
Happiness of the Christian.
Home Dept.
Only one arrow.
Memory of the Late Mr. Kobayashi.
Factory Girls' Dept.
W. C. T. U. News.
Head quaters, Osaka, Kōjimachi, Kanazawa. Shizuoka,

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 23, Haramachi Koishikawa Tokyo,
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十四號

(明治四十四年十二月廿五日發行)

○事務所並に發行所變更

玆に謹んで從來の御愛顧を感謝いたし並に將來の御同情を願い上候就ては當婦人新報は明治四十五年を以て凡てを改革いたし事務所並に發行所を左に移し申候間矯風會及び新報に關する件は左記まで御通信被下度御願ひ申上候也

東京市麴町區上二番町卅三番地

矢島楫方

社説

○年末の感

喜びて迎へし新年も將に暮なむとするに際し人は様々の感にうたるゝてありませう、「元日や今年も來るぞ大晦日」と古人の云はれし大覺悟を實行し得て滿足に年を過さるゝ方もありませうが、この年に於て大に爲すあらんと企てた事も種々なる事情にくだかれて水泡に歸し、あるは思ひの幾分をも果し得ずとかこたるゝ方もありませう、さりながら憂にあれ喜びにあれ過去は即ち將來を造り出すための經路なれば例令失敗に終るも正しき事のためには決して悲しむに足らぬ事であります、私共はすべてを神に捧げて感謝の内に此の年を送り、心を淸めてキリストの御誕生を祝はねばなりません、白きリボンの鎖につながれつゝ我が婦人矯風會に於てもこの年は實に記憶すべき年であります、はからざる恩惠の許に活動の段階を進めつゝあることを感

謝せねばなりません。

諸姉もすでに御承知の通り同志の憂慮せられし和歌山市に於ける遊廓設置問題は川上知事の英斷によりて慶賀すべき解決を得ました、これが爲に熱誠を盡されし大坂支部の活動並に和歌山支部長の單身上京せられし美擧、會頭は應援のため同地に赴かれ其歸途神戸濱寺京都等に立寄られて至る所に主義の擴張をつとめらる丶事は私共の記憶より離すべからざる事であります之につゞきて起り來れる活動は吉原問題であります、正義の聲は至る所に傳へられまして終に廓淸會の誕生を見るに至りました。

玆に亦感謝に堪へませんのは之まで沈默を守られし京都支部の俄かに奮て大會を引受られ炎熱を物の數ともせず主義のために汗を流されし次第であります、大會後間もなくデビス孃は萬國平和會議に我黨を代表して報告をなさる丶ため旅に出でられ爾來至る所に於て一事のために働きをつゞけ居られ今は韓國京城にて渡邊君子姉と協力奔走せられつ丶あり誓約書四百枚を本部より御贈り致す次第なればそれにても好况推し量られます。

天は尚之を以て足れりとし給はず英國よりグリゴレー氏なる應援者を與へられしため幾多の可憐なる同胞のために救の道は益々開け漸次其歩を進めつ丶あります。

終りに揭載して諸姉の感謝を願度は矢島會頭には今日(十二月九日)午後二時より遞信省官吏養成所の招聘を受け一場の演說をなさる丶筈であります。

諸姉よ幸に御自愛の内にこの年を感謝し將來も尚ほ天父の御教訓の許に主義の擴張を御つとめあらせらる丶樣祈りて止みません。

年の暮　　矢島楫子

くれと明と榮え行く都市の汽車電車
のせて行く年むかへとる年

○是實地之問題也

島田三郎君

佛蘭西で云ふ娼妓は我國で云ふ藝妓の種類であります今三輪田君の述べられた藝妓の種類でありまして決して我國で云ふ鑑札を受けて公然と一所に集めて置いて他の社會と特別なる扱をして恰も牢獄に入れたる如く本人の意思に背いて之に非倫の行をさせて本人が業を廢せんとしても或は警察力を以てし或は間接の制限を以て其業を廢する事を止めると云ふまでに束縛せられて居るものではありません要するに佛蘭西で云ふ密娼と云ふものは自己が隨意で或は派手の生活をしたいが爲めに自分の名譽を犧牲にして斯樣な卑しむべき仕事をやる者或は生活に窮するとか其他の不幸或は本人の心得違ひから隨意に斯樣な事をやると云ふのが佛蘭西の密娼の種類であつて我國で云へば稍々藝妓の種類に類似した淫賣婦であります、決して我國に成立つて居るあの遊廓の中に閉込められて本人の意志に逆らうて親や或は尊屬親が證文を書いて金と引換へると云ふ形式を以て本人の意思に反して非倫の行を强ひると云ふやうなものでないと云ふ事は私は明言して憚らないのであります。本人が斯の如き好き政府と好き社會に臨んでなるだけ名譽ある生活をしたいと云ふ希望を起しても逃れる事は出來ず、法律警察の力を以て之を抑へると云ふ事は政治上に於て非難せざるを得ぬと云ふ事は實地問題として社會に愬ふべき第一の論點であります。此時弊をも認めずして世の論者の筆を執り講壇に登る人が單に密娼も公娼も同じであると云ふに至つては公娼の憐れむべき點である、公娼が明白に奴隸であり明白に人身賣買の制度に於て成立つて居ると云ふ事も可なりと云ふに至つては論理を知らざる眞實に事實を研究しないところの暴論と私は言はなければならぬと思ひます。是は第一の點でありますが、然らば此制度は如何にして成立つたかと云ふ第二の論點を申しますれば、無意味なる過去の驚くべき遺物であると云ふ事に結論が到着すると思ひます。あれは古より成立つて居る一種の惡習慣であるが併ながら是が正當に確定したのは德川二百六十年の政治の間に斯樣になつたと云ふ事は諸君も確かに御承知の事であらうと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

思ひます。アレは徳川氏の一種の誤れる考であつた、併ながら一所に集めて他の社會の方に廣めまいと思つた一種の政略も籠つて居ると思ふのであります。昔の書物を見ますると麹町、葭町にもあつた、方々にあつた、それから湯屋の中にも密娼があつた、是は湯女と稱へるもので元祿時代の風俗を見るとありますが、一種の密娼であります、公娼として集めてあつた處は今の東京の麹町方面葭町方面にあつた、是はさう云ふものを散らばしては良民が困るであらうから一所に寄せやうと云ふのが政治の目的であつたのであります。もう一つは丁度亂が治つて德川政治の權力に反對する所謂平和を亂すところの武士を德川家が恐れた爲めに是等も新に太平の秩序を立てたい爲、又時には盜賊の横行する時には其不當なる金の使途の場所に之を充てる、それからあたり前の宿屋に行くと規律嚴然として居るから陰謀を逞しうして居るものは遊廓に皆遊びに行く、乃て之に探偵を入れて穿鑿をするのが最も宜い即ち遊廓のみに特權を與へて其外には左樣な事はさせないと云ふ事から一緒に是等を集めやうと云ふので特權を與へたのが即ち此原因であります、それから明曆の大火で當時の江戸の大部分は燒けて葭町方面も今日の吉原の如く他の家屋と共に燒けて仕舞つた、殊に當時は江戸は家康が府を立てた時よりも人口が殖えて、葭町方面は偏鄙な處にあつたから其處へ最初は固めて置いたのでありますが、段々人口が殖えて來るに從つて不便でありますから田の中を埋めて其處へ移すと云ふ事になり、吉原のあつた場所に移させたのであります、さうして葭のあつた原に持つて行つたので新吉原と云つたのであります。歴史上政治上の沿革に依つて組立てられたのでありまするが、其根底は個人の權力を認めない時代の思想が之れを表はしたと云つて宜しい、個人も認めなければ個人の自由も個人の獨立も認めないと云ふ狀態でありまして君が號令すれば倫理の法則も亦之を變更する事が出來ると云ふ此專制の結晶したる思想が斯の如きものを惹出したのであります。其當時の制度はどうかと云ひますると或る點に於ては

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

之に特許を與へたものでありますから身分ある人が公然行つても咎めないと云ふ緩みを置くと、或點に於て娼妓は罪人の如く人間より一等下つた扱ひを爲したと云ふ見方をする事も出來るのであります。殊に密娼のある時には警察が手を入れる如くにして之を狩り立てる、さうして之をどう罰するかと云ふと不埒な事であるから罰として吉原に下されると云つて恰も物品の如くに吉原に入れて仕舞つたのであります、それから一方には又誤れる倫理觀念、服從的組織の觀念からして親が病氣で是が治療を施す事が出來ない、其處で其病の爲めに子が身を賣る子は親の病の爲めなら身を賣つても宜い夫が孝行であると云ふ此誤つたる倫理觀念の下に己れの子女を虐待して吉原に賣ると云ふやうな亂暴な親もあれば又子の方では此誤まれる倫理の觀念からどうかお前の身は苦界に沈めても藥代だけは拂つて治して貰ひたいと云ふ、要するに金錢賣買の目的となつたか、然らざれば罰を受けて良民と齒する能はざるものを下されたと云ふのが人間を物品扱ひにすると云ふ觀念となつて表はれて此制度を爲したと云ふ事は明白であります、其當時に於ては衞生の觀念はなかつたのでありまして惡い病を豫防する爲めに娼妓の必要ありと云ふ理由を見出す事は出來ないのであります、詰り行政の便利の爲めに亂暴者を押へるには此處が適當なる場所であると云ふ事と、他の方面には惡い風習を集めて他は嚴重に閉づると云ふ事と一方に倫理の誤まれる觀念から人間を物品視して賣ると云ふ事とでありまして、此觀念以外に親が子を賣る事が出來ると云ふ權利はない、羅馬ハ古代の觀念の如き人間の價値を認めないところの制度が結晶して斯の如きものになつたのであります。併ながら今日に於て此觀念現に衞生だとか云ふ進歩した思想を持つて居る人が何故に之を覺らないかと云ふ事を私は怪しむのであります。明治の初年に於てどう云ふ改革をされたかと云ひますると第一に四階級に隔つて居つた階級を解いて四民平等と云ふ事になつた、さうして男子も婦人もやらなければならぬと云ふので教育會を布いて普通教育は強制しても

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

行へと云ふ事になつた、更に進んでは此國民で相當なる資格を持つて居る者は地方の政治に參するの權利を與へ、又中央の政治に參するの權利を與へると云ふ事にした、又婦人も人間としては半分の價値あるべきものであるから價値を婦人にも與へたと云ふが如き、斯の如く改革を爲し更に我々の記憶すべき價値は何であるかと云ふと長い間誤まれる傳說の中に苦められて居た穢多を平民の中に編入されたと云ふ事は光ある明治昭代の改革であると思ふのであります。斯の如く着々新思想の下に制度は改革されましたが何故に無意味ある理由を付けて居る遊廓其者は大事に保存して之を更に世の中に示し、さうして警察官が護衛をして遊女屋に之を導くと云ふに至つたのは現今當代の野蠻王と私は思ふのであります。本人の意志に反くと云ふ事は諸君大に注意しなければならぬ、人自ら誤つて陷るものは罪人となるものもあり自殺するものもある、是も社會の害惡でありますが、他の方面より是は救はなければなりませぬ、本人は遣り度くないけれども金て以て之を束縛すると云ふ事は社會の倫理に反對して居る、本人の意思に反いてまでも金の目的物として强いて爲さしむると云ふ事に至つては政府のやる事は殆んど二百六十年の間專制政治を無意味に維持したる處の遺物を有りがたく頂戴して居るに至つては明治政府何の面目があると私は思ふのであります。それで是等は衛生に果して適ふや否やと云ふ事を調べて見ましたが私は衛生に適はぬと矢張り事實に於て確かに云ふ事が出來るのであります、先づ全國に於て絕えて公娼のない縣とそれから僅かに殘つて居る縣と此二つを見ますると、全く無い處が群馬縣で僅かに殘つて居る處が埼玉縣、それから僅かにあつたのが近時の誤まれる政治の目的から殖えて來たのが和歌山縣でありますが、之を見ても公娼のある處は病毒に罹つて居るものが多い群馬縣埼玉縣に病毒に罹つて居るものが多いと云ふ事はない、是は檢査と云ふものは私は衛生の上に於て何の關係もない、數の上に於て左樣に思ふのであります。第二は人情の機微を知つて居る者が之を恃

んて衛生に害がないと云ふやうな迂濶な議論は出來ないと思ふのであります。本統に檢査すると云ふ事でありますならば抱えて居るものが檢査を勸めると云ふのでなくして本人自ら喜んで此檢査を受けると云ふ事にならなければ本統の檢査と云ふものは出來ないのであります、唯今の制度は承る處に依ると一週間に一度檢査をするが、是は所謂御役目の檢査である、規則であるから仕方がない、本人も好まないけれどもやらなければならぬと云ふ狀態になつて居るのであります。又貸座敷も自然之を好まないのであります。それを檢査と云ふ制度があるが爲めに醫者に行つて檢査をするのでありますが、第一に此醫者が果して獨立して居るものであるや否やと云へば直ちに私は獨立して居らないと思ふ、名譽あり何處に行つても先生と云はれて呼ばれる醫者ではない、あの中に足を入れて遊廓の人、と伍を成して檢査をする醫者は必ず下手な醫者であつて名譽を重んじないところの醫者であると私は思ふのであります。更に外に行つては掛り手の少ない醫者であると云ふ事を思ふ、此醫者は金の爲めには何でもやつて恥かしい何と云ふ感覺のない醫者で金で自由になるのであつて外では流行らない醫者で、さうしてア、云ふものを見て家族も近所に於て子供が惡習に染む事をも何とも思はない醫者で、實際檢査をする能力のない醫者であると云つて宜いと私は思ふのであります。第二に遊廓の主人はどう云ふ具合に人を魅する力があるかと云ふ事を實地の話をしまする驚くべき力がある、あの警察官が救世軍が正義の爲めに？を受ける爲めに中に這入つた時にどちらに味方をしたかと云ふと救世軍を補へてこちらに來いと云つて、お前はいけないと云つて樓主の方に味方をした警察官がある、さうでないと云ふならば私は救世軍の人と打合せて確かに證據を出して御目にかける、救世軍の中で法律思想のある人が警察官と問答をしなければ勿論娼妓は警察官の威力の下に樓主に引戾されるのである、人民保護の爲めに嚴重なる命令を下すところの警察官であるかと云ふと、是亦金の爲めに左右せられ易い人

であるのであります、此遊廓の主人はどうかと云ふと金の爲めにはあらゆるものを犧牲にして己れの精神と靈魂とを犧牲にする詰り金錢の我鬼が集つて居るのでありますから此我鬼に動かされ易い警察官と此我鬼に買はれ易い醫者とが寄つて一週間に一度の檢査をしてそれて安全であると云ふに至つて無病の保險にあるに非ずして有病の危險なりと斯樣に私は言ふのであります。全體申しますと自分の情慾の奴隷となつて繁劇なる希望多き世の中に立ちながらあの不潔不倫なる中に足を踏容れる人に病があるかないかと云ふやうな事を考へる者はない、而してそれよりは精神上もつと惡い慣習のある此誤まれる中に勇士が飛込むのであります。衛生の上に於ては無關係の人物てあります、若し或る論者の如く人間社會國家の爲めに善き人種を成し、健全なる國民を作り出す爲めには精神の上身體の上に於て不健全なる人種を滅ずるのてあると云ふ論者と御同意てはありませぬが、寧ろ根本を取除くにはさう云ふ人は有りがたくないと思ふのてあります、此同胞に安全を與へんが爲めに社會の倫理を公然と蹂躪してあらゆる文書に表はれる、淺草觀音の中をアナタ方が御歩きになるとどう云ふものが本屋にあるか、吉原細見記と云ふものかある、一方には敎育勅語と云ふものがあると思ふと一方には吉原細見と云ふものがある、斯樣な恃みなき制度の下に安全なりと感じて國民を成立たしめて、さうして外國からは日本は穢れたる不思議なる制度を安全なりと見て居る國民だと云はしめても尙ほ之を忍んて政治の目的を達したりと云ふ事が出來るや否や、私は實地の點から論斷して差支ないと思ふのてあります。

更に是て以て私娼密娼を防ぐところの効力があるかと云ふと斷然私は無いと云ふ、何故ならば東京程多くの公娼を持つて居る處はない私の知つて居る處て先づ地圖を披いて見ますると吉原と云ふものがある、此方には品川新宿と云ふものがあり、板橋と云ふものがある、此方の方には根津から越した何とか云ふ處がある（聽衆の中にて「洲崎」と呼ぶ者あり）（笑）洲崎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

がある、さうすると東京の善良なる市民と云ふものは此公娼が方々て壘を築いて百八十萬ばかりの人口を圍んて居るのでありますから是ならば密娼の入り込む隙間もない程に我々を番をして呉れて居ると思ふ程に取卷いて居る、それで私共の反對論者は公娼を收めれば淫賣の風が絶えると思ふて居るが現在東京市中に四千の藝妓のあるを知らざるかと覆面もなく云つて居ります、四方を圍んて居る公娼は一も密娼を防ぐに足るものではない、公娼が四方を圍んで而も中に密娼が四千あると云ふならば何れが能く密娼を防ぐの方法になるか、徳川氏の制度が論理には適つて居る、密娼を驅る事嚴重で、若し密娼があれば風俗を紊ると云ふので吉原に下して仕舞ふ、此方が論理に適つて居ると結論するのであります。今日は公然と筆を執る人も政治家も公の人も四千の藝妓のある事を認めながら社會は密娼を防ぐ爲めに公娼を置くのであると云ふ論理に至つては言語同斷と云はなければならぬ、實地の議論が斯の如きもので決して人の精神から直して行くと云ふ宗教の方面からばかり觀察するのではない、又教育の方面から論ずるばかりではない、私は社會の制度、法律の上から論じ幷に國民の品位の上から論じ斯の如き矛盾した不論理な事實の成立つて居るのを社會は何故に恬然として顧みないかと思ふのであります、要するに此論は習慣の爲めに久しく成立つて居つたので人々が公娼とはどう云ふものであるか、之に對する關係を本當に知らない、知らない人が知る如くに四千の藝妓がある事を考へないで公娼を攻撃するのは何事であると云ふに至つては憐れむべきかなと宣告しなければならぬのであります。それならば是は宗教家の議論、道徳家の議論、又教育の方面から倫理論として呈出するもよし宗教の方面から呈出するのも宜しいが、併し世の中は　の社會であるから小道に公娼を征伐するには及ばぬ、彼等は唯机の上の議論であると云ふ事を云ふ人がありまするならば、私は左様でないと云ふ事を人間の證人を擧げて御話しやうと思ふのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○周圍の人に對する同情

安井哲子孃
（文責在記者）

例によりて面白いお話は出來ませんが近頃の所感は私は信者の一部分をけがして居りながら周圍の人に對しどうゆう事をして居るか、弱い者正しくないもの自分より劣つた者に對しての感じは只今自身の心の内に問題となつてをります。

私は幼い時から丈夫で家の者も皆健康でありましたゆゑ多分他の病人に對して同情がないでせう、先年シャムに居りました時私は友人に向て病院の經驗がして見たいと申しました、その頃シャムに永く牧師をして居りました英國人の御孃さんは看護婦となつて父上のあとを慕ひ同地の病院に參られまして私を訪ねて下さいまして是非病院へ遊びにと招かれその後一週間程たちて其看護婦の方を尋ねました、氣候に適した建築て實に空氣も善く通ひ申分のない病院でありまして快よく御話をしましたその時も私は實に病院の經驗をして見たいと申しましたがそれが實際となりまして終に二年の後でしたが大した熱病に罹り其病院で亦その看護婦の御世話になりました、私は看護の大事なこと、朋友の親切なことを始めて感じました。

△すべての苦勞は同情を敎ふ

この病氣は他人に同情をよするやさしき心の經驗を敎ふると面白く思ひました、その時苦しかつた事が今では人に同情をよするよき敎訓となつたのであります、先日秋期傳道の時ある御夫婦がよき經驗談をなされましたその中の一つを申上ます。

その御夫婦は今でも善い地位に居られますが前に比べますればよくないのだそうて、ある時主人が四つ谷の鮫が橋に行きましていろ／＼と人々の有樣を見て居るうちに職人の樣な二人が摑み合をして居るのを見て歸りまた御夫人をすゝめて同じ所へ御やりになりましたところが今度は先とちがつて車夫が今日はよい運が向て壹圓程利潤を得たからとて隣の老婦人に大ふくもち

を買て來てやると、そのお婆さんはあの人は實に正直なよい人だのにどうしてもつとよくなれないのかといひました、そこて其車夫は自分の子供にもみやげを買て家に這入りますと妻は喜んて今からお豆腐を煮てたべませうと其喜びを表はしたのを見られて御夫人は考へました私共も自分は正直てあつたのに今は前より惡しき境遇になつたとはいへ此の車夫に比べますれば何の事もない然るに僅か壹圓をまうけたりとて他の人を悦ばせ家内を樂しませ聊かなる者を以て美しき家庭の情を表はすといふに至つては實に耻かしく思ふ事てありますとそれから御家に歸られて御夫婦共に是迄信仰の弱きため自分をつまらなく感じたのてあると申されました。

種々ある境遇に於て人に同情を寄する事が出來るためのものならば苦しみはつまり人に同情を寄する機會と思ふて居りますが信者としては神を知らぬ方よりももつと自分を反省しなくてはならぬといふ心を養いたいと思ひます、心の煩悶を神樣に捧げ一日を平和に送り完全なる天父に似るやうにとつとむる筈てありますが自分の平和のみを願ひまして他人のために神を紹介する必用があつても欠けて居る所がありはしないかと思います斯ふ云ふ點に於て遺憾なくやつて居られるのは救世軍てありますこれは實に我身を忘れて墮落社會のために貢献する美しき働きてあります。

然し皆救世軍の服をつけ徽章をつけませんても心の底に其れと同じ心を持ちたいと思います。（つゞく）

宗　教

○基督者の喜

外村義郎君

今日は基督者の喜についてお話をしませう、扨基督者の喜とはどんな喜てありませうか、之をまとめて申せば神樣の恩惠に預る事て有ます神樣と申まして八百萬神樣てはなく即ち基督教の敎へます天地をつくり萬物を主宰し給ふ唯一の靈なる神を申すので其神樣の恩惠

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

にあづかりたることが私共の大なる喜てあります、さらば其恩惠とは何んな恩惠てありませうか思ふに太陽の光を與へられ空氣を與へられ又雨露を與へられ或は飲食物衣服の材料其他人間に必要なるありとあらゆるものを與へられて居ります之れ等は皆神様の恩惠てありますけれども玆にそれらのものよりも勝りて更らに大きな恩みを與へられてをります、それは眞の神様が大なる御同情と御いつくしみとを以て其の愛し給ふ獨りの御子イエスキリストを此世に御遣しになり私共の爲に救の道をおたて下された事てあります、之れが私共に取て大な恩であつて又私共の大な喜て有升、如何てせう皆様御自分の胸に手をあて靜かに又眞面目にお考へになつてみた時に御自分の心の内には御滿足がありますか、安心平和が有升か、誠に死にかつ希望がありますか所謂十全の喜がありませうか克く御考へを願ひたいのてす、若し夫れらのものを持つて居ると仰せらるゝ方がありますなれば誠に結構な事て今日の私の話しは必要がありません、然し殘念の事には其等のものを持つて居る方が少いのてあります、常に不滿足不安心不平和てあり又失望することのみおほいので有升、どうも十全の喜がないのて有升、之れは何故てありませうか基督敎ては罪のためだと敎へます、罪とは何てありませうか國法を犯すと云ふのてなく人間相互の間に於て言ふまじき事を云ひ、爲すまじき事をなし思ふまじき事を思ふ等皆罪てありますけれども其れよりもつと深い罪が有升、即ち神様に對する罪てあります、人は皆神様によりてつくられ守られ神様の御かげて日々の生活をなして居るので有升、故に人は神様の御旨に從ひ其御聖旨に叶ふ生活をなすべき筈てあります、然るに人々は其御旨に從はず其の思召に叶ふ生活を爲さず常に我儘勝手なる生活をなして神様の御旨にさからひ、其御思召に反いて居るのてあり升、言をかへて申せば神様の義しき愛をふみにじり聖き御計畫を破壞致して居るので有升、これが基督敎で敎ふる罪の意義てあり升、此罪を犯して居るが故に滿足安心平和希望なく十全の喜びを得られぬのてあり升のみ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ならず、聖書には罪の結果は靈魂を永遠の滅亡にいたらしむると記してあります、之れらの事を思ひめぐらせば罪と其結果ほど恐るべきものはないのであります然らば此の罪から救はれ其結果よりまぬかるゝには如何致したらばよろしいでせうか、人間の能力で此罪の始末をつける事が如何ませうかどうか考へれば考へる程人間の能力では始末のつかぬ事を感ずるのであります、どうしても之れは他に救ひを求めなければなりません、此時に當り只今申しました樣に眞の神樣は大なる御同情と御いつくしみとを以て其愛し賜ふ獨りの御子イエスキリストを此世に御遣はしになり私共のために救の道をおたてくだされたと云ふので有升實に之れは喜ばしき音信であります且つ其御子が如何にして其救ひの大業を成就したまひしか又私共は如何にして其救にあづかり得るかと申すに御子イエスキリストは罪に汚れたる此地上に降生し權威ある言語を以て神の國の福音を宣べ傳へ給ひしのみならず、同情と愛にみてる善き業をなし遂にはおほくの罪人から嘲られ罵られ樣々の恥しめを受け十字架上に兩手と足に釘打たれ肉を裂き血を流して私共の罪の贖ひを成就し罪の赦しを與へ給ふたので有升、即ち私共の罪は既に十字架上に贖はれ赦されたのであります、故に私共はたゞ眞心から此救ひを信じて受けるならば其救にあづかり恩に滿ちたる生活に入る事が出來ので有升、これは實に大なる神樣の恩惠であり又私共の大なる喜びではありますまいか。

第二に私共は此救の恩惠にあづかると同時に滿足を與へられます、滿足とは感謝の生活をなすことであります、感謝の生活は神樣と共に歩む生活で有升、基督者は神樣を高く又は遠い天に於てのみ拜するのでなく我心の内に拜す事が出事るので有升、私共は神樣と和ぎ、神樣と親しみ、神樣とむつまじくある事が出來るので有升、此の如く神樣と共にあり、共に生活すると云ふ事は何寄も勝りて大な喜びで有升。

第三は眞の安心を得る事で有升、安心といふ事は基督教以外の宗教でも安心を與へると云ふ事は申して居升、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

然し其文字其言葉は同じであつても内容に於て異なる處があるやうに思はれ升、或人の云ふ安心は一種の氣休めに過ぎないので恰も猫が寺のえんさきで日向ぼつこを致して居る樣な安心で有升、然し私共の安心はもつと能力の有生命にみちた安心でありましてロマ書五章に記して有艱難にも喜びを生じ或は逆境に恩寵を感じ又悲哀に感謝を捧ぐる事の出來る安心であり升。

第四には眞の平和を得る事で有升、之れも安心に就て申たと同じ樣に名は同じでも質の異なる平和が有升、私共の平和はたとへどの樣な行違ひが起り又どの樣な場合に出合ふても決して亂さるゝ事のなき平和であります、人々が見て實にきはどい危い場合に臨んでゐても尚且つ動かさるゝことのなき平和であり升。

第五には希望と死にかつ希望を與へらるゝ事で有升、おほくの人々は死が人生の最後で在と思ひ墓より先には道がない樣に思つて居るので有升、けれども私共は死にかつ希望を與へられ墓の彼方に道のある事を信ずる事が出來る樣になり升と同時に死と申者は此方の座敷から彼方の座敷よりよき座敷に移り得る樣な心持て其處を通り越すことが出來ます、私は毎度信者の臨終に招かれて參り升が實に信仰によりて來世の望みを得て居る人々の死にぎは程美はしきものはありません

最後には十全の歡喜と申事に就て申上たいと思ひ升、喜びと申ましても或ものゝために又或場合に奪ひ去らるゝ喜びが有升、それは十全のよろこびとは申されません然し私共は確しかに十全の喜びに滿される事が出來るので有升、一體十全の喜とは如何なる喜でありませうか之れについて聖フランシスはかく申て居ります壓制的に强られてではなく任意にキリストの十字架を負ふて働く事譬言をかへて申せば神のため道のため即ち義しき事のために勞苦する勞苦夫れ自らが喜で有これ即ち十全の歡喜で有と申て居升、實に尊い教で有と思升、多くの人々は兎角喜びを勞苦の他に求めようと致します故に全き喜びを得る事が出來ません神のため即ち義しき事のために勞苦する勞苦その者が喜でありますと感ずる樣になればこれはたしかに十全のよろこび

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

てあります。然して神の恩恵イエスの十字架の救は此の如き喜を私共に與へ現世と來世とを通じて大なる幸福に預らしむるので有升、誠に此大なる救をたゞ信仰によつて我ものになる事が出來るといふ事は大なるめぐみて有又實に私共の大なる喜てはありませんか。

家庭欄

○衛生

記者の一人

離乳の時期に就て

母親が子供を可愛いと思ふの餘り離乳の時期を誤る事は世間往々有るのでございますが之は全く姑息の愛と申すものです、産後八ヶ月迄は乳汁中に滋養分も有り亦分量も澤山に出るのですが八ヶ月を過ぎますとだん／＼分量も滋養も減つて參ります、すでに乳歯が發生しますのは子供の消化器が整ひました徴候だと申す事ですからこの時から注意して追々に乳を離すことに心掛け生後一ヶ年か倘一二ヶ月位の内に全く乳を止めさせねばなりません、この時を過し止を得ない場合が來るまで乳を飲ませますれば母親も衰弱くなり子供も却てやせるのであります即ち滋養分の無い乳汁を飲むためてございます、自分の經驗から申しても一定の時期に乳を止めさせました子供は身體が至て健康でありますから皆樣に御すゝめ申しあげる次第であります、それて急に止めさするのは致しにくい事でもあり子供も承知しませんから徐々に行ふてよろしいので乳歯が四枚も出ましたら消化よき食物を少しづゝ與へ是迄五度飲ませた乳汁は四度に次には三度にと云ふ様にして自然食物に移らせる事は適當の仕方と存じます。

或る方よりの御求めに應じ自分の學び得たる所と實際に經驗いたした點を照合し姙娠中より分娩後倘ほ育兒に至る心得中婦人の尤も注意すべき點を擧げ書き送りたる儘を茲に連載して諸姉の御參考に供します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

妊娠分娩と申しますと實に婦人にとりて大切な又た重き役目と申すわけてあります、心得べき事を不注意に過すためずい分危險な場合にも立至るのです。

妊娠の初め三ヶ月までは未だ子宮は腹部に上りませんから當人もそれと氣が付かずに過ぎ從て攝生を怠るとがありますこの間は尤も大切な時期て內部には變化が起つてをりますから頭痛がしたり、じれてみたりこれまで愉快と思ふた時も不快と變じますこれをも何氣付かずに常の身體と思ひ過劇な勞働をいたします爲めに流產といふ危險な事になりますこれは初めての方に多くある例てあります、一度流產しましてその時充分に手當が屆きませんならば其くせがつき何度もくり返す樣になるばかりてなく非常に身體もよわり手數のかゝる事は實に普通分娩の倍も看護にかゝるのてあります流產の原因には勿論病的のものもありますが不注意と云ふ事もなか〱少くないのてす、四ヶ月より五ヶ月になれば子宮は腹部に昇つてまゐります、この時（五ヶ月）の注意は先づ腹帶をする事てある、西洋人はこんな事はせぬといふ御方もありますが之を致しませんなら胎兒が一定の位置を變じ母親も働くのに不便を感じます、この時適當の資格ある產婆を撰みて之に托し每月二回位は診察を受け、いつも一定の位置を保たしむると必要てあります入浴は至極宜しく食物は別に撰ばずとも相當に滋養分ありて消化し易きもの可成每日取り交ぜて食することは餘程効力あるやうに存じます通常の身體ても便通の有無には始終注意せねばなりません別して妊娠中腸管は後方に壓せられて居りますため其働きもにぶくなつて居りますから出來得る丈け通じをつけるやうに考へますれば胎兒の發育もよろしい道理てす、六ヶ月頃になりますと胎兒は手足を動かすため妊婦は折々心わるく感ずることもあり神經も過敏になりましてすこしの事も強く感じ泣き易くなります之は妊婦の精神のもち樣てありますから常に平和の心をもてすべてを天にまかする御方ならば餘程過敏の度も減じ從て愉快を覺ゆる樣になりそれがつまり胎兒にも影響する樣になるりてあります、七ヶ月以後は腹

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

部漸次膨大するため胃にも其影響を受け消化の力は弱くなるわけてありますから適當の運動をとり胃の弱くならぬ様につとめねばなりません之れ全身の血液は食物の消化によりて間接に補はるゝものですから胃の弱きときは充分なる血液を體内につくる事が出來ないわけてあります、また胃の弱きときは必ず腦もはつきり致さない様に存じます胃の健全なるとはすべての病氣に抵抗する力も大きいと考へます、乳房につきての注意は大概八九ケ月の頃よりアルコホールを以て乳頭を毎日拭きますと哺乳の時に乳頭のたゞれる事はありません。

（つゞく）

○婦人用名刺の由來

矢島楫子

只今の婦人方が小さい名刺を御用いになりますが其起りを申しますと我國ては最初に藝者が持つて居つたのて其外の方はずい分高貴な御婦人方ても名刺といふものは御持にならなかつた、私は人様を訪問して御留守のときには是非とも自分の住所職業及其訪問した事柄を書いてさし上て歸らないと折角足を運んだのもむだになり、また女中に言捨ても違つたりいたしますと誠に不都合と思ひどうしても名刺の必要あることを感じました、然し藝者のまねをするの忌むべき事は勿論小さなものては用が辨じませんと考へ只今用いて居る様な名刺をこしらへましてから始めて安場様（後藤新平令夫人の御親父）の御宅へ伺たとき取次の人が奥へもつて行きますと、女でこんな名刺だといふて笑はれました事を覺えて居ります。

ある方は肩書をかいては謙遜てない様に仰せられるかしれませんがこの繁雜な世の中に自分の住所、職業を説明するために人様の御尋を煩はすのは却て無禮てはないてせうが、よろしく明記して名刺の甲斐ある様にすべき筈と考へます、なんても無意味に致して居る事はないつもりてあります、斯樣な名刺を婦人て持始めましたのはこの國ては私が始めてあつたかと思ふて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○折にふれて

しづ子

世の中の進歩につれ生活の程度もだん〳〵高くなりむかし私共が女學生時代の生活と現今の方の有樣と比べますると驚くばかりてあります、余り正直過るかもしれませんが又露骨な申樣かも存じませんが私共は毎月實に僅少の小遣で滿足して居つたのであります（十年前）校長の令嬢てすら卒業後自分の力てこしらへるなら兎も角も學生の時代はと申され終に綿服のみを用ゐられた事を耳に致した時は一層自らを謹まねばならぬと考へた折もございました、今の方々は如何てせうか小遣は其れに比べますと三倍にも當りませうそして廣いリボンを花やかに飾りカシユミヤの袴に長き袂をふりかざしめいせんなどは耻かしいといふ有樣はいづれかの令嬢には相違なきもこれらは皆自分の力てなさるのではなく多分御兩親の御世話になつておいてる方が多いてせう實に贅澤な事てあります、勿論何の御不自由なき方は尤かもしれませんが學資充分ならざる境遇に在ても勉强したいといふ精神ある者も餘りあたりが華美になると餘程意志の堅い人てないと、やはりつられてこのにくむべき虛榮に傾く恐れがないとも申されません。

先年學生諸姉に對し山室夫人よりの御すゝめの內まことに適當な御話がございました、それは身躰を平民的に慣れしむべし、人は境遇に制せられて居ては到底何一つもなし得る事は出來ませんと說き初めて虛榮惰弱を好む人の生涯に危險なることより勤勉を尊み、あわれなる人に同情を表することに終られてありましたが實に私共の學問をなす目的を考へて見たいので即ち神のためによき器たらんが爲め、又人の本分を全ふするが爲てあることを思ひ優美を缺かざる限り人格を損はぬ以上は衛生的思想を以て質朴を實行し憐れむべき同胞のために出來得る丈け同情を表する樣に心掛けたきものてございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○誠實なきの事業は生命なし

木下尚江君

△人を投ふのは言論に非ず誠實なり

諸君私は先月吉原が燒けた翌日出發して少し旅行をして來た、もう新聞も何も讀まずに唯草鞋掛けて歩いて來た、さうして此一日に歸つて來ました、新聞も何も見せぬから何も知らない、さうして歸つて家内に何か面白いことがあつれかと言つたときに家内が一つの話をして呉れた、それは吉原の中米樓といふが廢業をしたさうてす私は此事を聞いたときに殆ど愕爲としました、そうして其新聞にあつたといふ事實を一通り家内から聞いたてす、中米樓といふが廢業をしたといふことを聞いたときに私は殆ど全身に汗して耻ぢました吾輩は永く基督教徒といふことを以て標榜し基督教徒の名に依り神の愛に依つて廢娼論を唱へて居つた、之が何を爲したか、言葉には美くしい良い言葉を使ひます、けれども心はどうてあつたか、吾輩の果して口に言ふ程の愛があつたか、私は今諸君の前に盡く言ふ、無かつた（拍手笑）私は此自由廢業時代に多くの娼妓を手に掛けました、其時に常に斯ういふことを感じた、どうも之はいかぬ、多くの娼妓が新聞社の二階へ逃げて來たてす、中には悉皆仕度をして着物も持込んて來た婦人もある、中には殆ど寢衣に細帯を卷いて來たのもある、けれども如何に盛裝をして居るところの婦人と雖も私は差向いて飯を食ふ氣にどうしてもならなかつた、吾輩は今更諸君の前に過去を蔽うても仕方がない吾輩も穢れたる身體てす、吾輩は實に穢れたる身體てあります、さうして其時分に身體を穢して居たときには此女郎と差向いてさうして之から飯でも盛つて貰つて常非に旨く食つたぢやないか然るに今廢業をしたと云うて逃げて來た此婦人と吾輩が差向いて飯を食ふことを何となく嫌ふといふことが茲に囁かれたときに内心常に耻ぢて居りました、之ては迚も女郎が逃げて來ても吾輩に救ふことが出來ない我に愛が無い、我は唯此女に思慮を與ふべき權威を持つて居るの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

みてあつた、愛から此女を保護しやうといふのてない、斯ういふことを常に感じて居りましたから中米樓主が廢業をしたといふ事を聞いて非常に自ら耻ぢた、私は此日本の二つの大宗教が即ち中米樓の前に頓首再拜しなければならぬと思ふ（ノウ／＼ヒヤ／＼）即ち佛教と基督教とが共に此前へ頭を下げて謝さなければならぬと思ふ、それはどういふ譯か、古へ佛教は實に此の藝者屋とか女郎屋とかいふものゝ中に普く巧に遺憾なく入つて居ります若も此女郎屋、藝者屋の賣淫屋といふものがなくなつたならば多くの繁昌して居るところのお寺は潰れてしまふに違ひない（拍手喝采）斯迄深く入つて居る、さうして茲に何の働をして居るか、諸君、世の存娼論者は娼妓制度は必要なものてあると申します之は社會の道徳を維持し衞生を維持し治安を維持するに必要なるものであると言うて居ります若しそれ程に必要なものてあるならば此女郎屋及女郎といふものは尊敬をしなければならぬ、尊敬すべきものてある、けれども存娼論者と雖も女郎及女郎屋を尊敬することが出來ない又彼等女郎屋及女郎と雖も存娼論者が嚴めしき顔をする諸君が皆是れ社會の風教を維持して居るところの大切な人てあると斯う言ふまい、女郎屋は自らそれて滿足はしない女郎はそれに依つて滿足はしない、女郎屋及女郎は皆自己を惡いことをして居るもの、自分は耻づべきことをして居るものといふことを心に明確に知つて居る（拍手喝采）彼等は人の前に立つときに傲然とします、何となれば人が己れを輕蔑して居るわえと思ふから人の前に立つときに傲然とする、人間には物を耻づる、己れを耻づるといふ心がある耻づるといふ閃きは是れ即ち神の心の閃きてす佛の心の閃きてはないか、此稼業に入つて居りながら日本の佛教は此惱みを救ふことをせずして却て之に諛つて惡錢を貪り取つて居るに過ぎない。

△人を罪人視す可からず

一方基督教はどうてあるか此處には基督教に關係の方も澤山にお出てゝありますが私は敢て諸君の前に言ふ、其態度は佛教と全く異るけれども基督教も亦此女

郎屋及女郎の神の心佛の心を打砕いて居る(ノウ〳〵)何となれば基督教は女郎屋といふものは悪いものである女郎といふものは罪である、宜しい、罪は宜しい、罪であるが故に救はなければならぬが罪であるが故に之を憎み之を遠けて居ります(ノウ〳〵ヒヤ〳〵)我は清し神の子である彼は穢れたる悪魔の子であると斯様に差別を置いて彼と我との間に渉ることの出來ない流を築いて居ります(ノウ〳〵ヒヤ〳〵)斯の如き態度を以て日本の基督教徒は何十年となく長い間廢娼論を唱へ來つて居ります是れ即ち學者とパリサイの態度を執つて居るものであります宜なるかな此基督教が何十年となく廢娼論を唱へ來つても一軒の女郎屋も廢業せず一人の女郎も廢業して居らぬ(拍手喝采)然らば中米樓は何に依つて廢業したか、彼は佛の心神の心の閃きに依つて廢業して居ります併ながら彼の神の心佛の心は佛教に依つて之を成就しなかつた亦基督教に依つて成就しなかつた、さうして佛教も基督教も社會全般が輕蔑して居るところの天理教に依つて救はれて居ります佛教も基督教も之に對して何の價値も無い(拍手喝采)此一つの訴に依つて見ても本統の救ひといふものは内の閃きに依つて出て來るものであるといふことが分るのであります。

故に吾輩は言ふ此政治問題に興味を持つて居られるところの方は其自己の興味に隨つて廢娼運動を何處までも御進みなさい、けれども此問題は政治問題に依つて解決すべきものでない一切の問題は政治問題にのみ依つて遂ぐべきものでない日本人は一種の迷信を持つて居る政治といふ此權力の關係を最高のものとして居るところの迷信を日本人が持つて居る隨つて此宗教でも教育でも一切のことが政權といふことに依らなければ貫徹するものでないといふ一箇の謬見に捕はれて居ります(拍手喝采)之が日本人の心に根深く潜んで居るところの恐るべき驚くべき迷信でありますぞ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○小兒の話

一本の箭

百合子

人里はなれた山家に、射的に巧みな一人の少年が住まつて居りました、彼は三度の食餌よりも、家外に出て鳥と云はず獣と云はず、目に留まるものは一つも迯がさず、的中る事を樂しみといたして居りました、彼の家のほとりの梢に山鳥の一家族が巣うて居りましたが母鳥は朝はやくから雛鳥の爲めに餌をあさりて、彼方此方と樂しげに囀ずりながら、飛び廻はつて居りました、巣の中のまだ目も見えない二羽の雛鳥は、一日中ちい〳〵と鳴て母鳥の歸るのを待つて居ります、小鳥の爲にはどんな勞苦も忘れて唯だ〳〵小鳥の日立ちを喜びながら、母鳥は翼のゆるす限り、遠き人家の多い處までも飛び去つて、日々幾度か餌を巣へ運んで居ります、唯だ歸るときも行くときも樂しい快活な歌を唱ひながらある春の麗かな日、今日も此の母鳥はいつもの樣に餌をあさつて漸く自分の巣の近くに來りましたので、一寸息まふと思つて小さな木にとまりました。丁度彼の少年がそこに來合はせて、惡憎と彼の鋭い眼は可憐な母鳥を見付けました、彼は息する暇もあらばこそ、早速どんと一射いたしました、帛を裂くやうな悲鳴に彼の少年は射とめたりとさも誇りがに家の方へと急ぎました、母親は右の翼を射られたのでたまりません、木から落ちまして、飛び上らふと思ふても最早や如何する事も出來ませんでした、然し母親は此痛みの中にも雛鳥の事が氣になつて堪りません動かぬ身體を引づり〳〵遂々巣を營んだ木の下まで行きましたが、悶がいても〳〵もう駄目でありました、彼の女は小鳥に歸つたとの知らせに一聲鳴きました、小鳥は母鳥の聲を聞ひてまた鳴きました、その日も夜も下にて一聲鳴けば上でも小鳥が挨拶し上で小鳥が鳴けば下では母鳥が返答をいたすと云ふ、やうでしたが、その聲は一聲毎に悲しく力なくなつて行きまして翌朝にはこの重傷になやむ母鳥の聲はかすかに〳〵になつて、遂々死

んでしまいました、小鳥はこんな事とは知らず段々お腹が空て來てもう鳴く勇氣もなく眠りました、その夜は風冷く雪さへ降つたので、暖かき母の胸を失つた小鳥は夜明けぬ中に一つ〳〵飢えて凍えて死んでしまいました、彼の少年の一本の箭は遂に一羽の母鳥と五羽の小鳥を殺してしまいました。

○小林富次郎氏の傳を讀む

○聊か感ぜしまゝを

故小林富次郎氏の溫容は未だ眼にあざやかに殘つて居りますが、幽明所を異にしてから既に一年を過しました、君が肉既に朽ちました然ながら其の魂は永に生きて君が殘されし事業の中に尙ほ君と語るの感をいたします、今や一週年に當りまして故人の友加藤直士氏によりて君が詳傳は梓せられました、其傳の贈呈を忝ふして幸に親しく之を讀みまして言外の感動を與へられました、實に君は模範的の實業家禁酒矯風主義の人慈善家でありましたが殊に私共の崇拜して故人の面影を偲ばしむる者は實に君が忠實なる神の僕であられた事であります、傳の一言一句、深い印象を與へられますが君が信仰の生涯に入られた以後の君がライフには一讀永遠に忘るべからさる感化と印象を與へられます今該傳は三十章ありて（別に附錄）實に二百六十三頁の詳傳でありますが君が生涯を表はしたる此の書は確かにあらゆる人の羅針盤でありませう、一度之を讀みますならば信仰なき人も信仰ある人も偉大な、インフルエンスを受けて大に修養に資せられます。

○工女係

報告　三浦てい子

我教會の説教會に來る一少女より、白井氏の經營せられし愛隣社は、同氏の都合にて中止せしかば、便を失ひし生徒も少なからずと聞き、よき事業を惜しき事せり、獨力にては負ひ難ければ、婦人傳道事業の監督をなし居らるゝミス、スペンサーに計りて、幾分の補助を得たしと、同女史に計りしに、そは婦人矯風會の事

業なりしと記臆す、一應相談し見んとの事にて、夫よりミス、バンフインド、小崎夫人等と會し『始めて婦人矯風會にては、繼續者なく一時中止の止むを得ざる事情に至りしと知り、兩姉の命の下に、矯風會の補助を得、開塾の運びに至りしは十月二日なりき、

教場には三田メソヂスト教會の牧師館を用ゐ、生徒は最初愛隣社に來り居りし五六名なりしが、各其友人を勸誘し目下十三名なり、工女、女中等多きも中に鐵道院の事務員、良家の娘、看護婦もあり、頗る多方面にわたれり、工女も、長とか、長とか監督の位地にあるもの多く頗る有望なり

學課は裁縫、國語、算術位にとゞめ成るべく實用を主とせり、裁縫を習ふもの多く、讀書等を望むもの目下四名のみ、裁縫は女子職業學校卒業生橋本とみ子、主任として教授し、學課は自分の擔當となし居れり、金曜日にはミス、バンファインド、補助者と共に來塾し、讃美歌を教授せらる、水曜日には牧師の聖書講義あり皆喜んで出席しつゝあり、日曜日夜の集會に成る可く出席を勸め居るが、半數位は出席す、有益にして必要なる事業なるが如く、生徒は益增加の兆あり

親睦の集會も生徒は望み居るを以て、天長節の夜、祝賀を兼親睦會を開きたり、クリスマスも盛んに祝ひたしとて、今より待ち居るなり、斯樣なる機會を利用してキリストに近けしめたしと祈りつゝあり

此れなる働の神の祝福を受けて、効果を奏し、主の榮を彰はし、且は矯風會と同情者との委托に背かざらんことを期す

内外通信

○婦人新報保證金總額(八百圓)は來年四月迄に拂込の筈なれども無據なきときは事務所建築費の内にて有價證券を以て擔保となす事(之に御不同意の方は御申越を乞ふ)

○本部常置員會　十二月十一日(月曜日)午後二時より女子學院に於て常置員會を催し會頭司會の許に讃美

及祈禱を以て開會
矢島、湯淺、井深、山東、小崎、杉本、根本、守屋、ミスパンファインド、高原の諸姉出席の上報告並に協議せし件左の如し
一婦人新報發行所發行人及び編輯人變更の件は去る五日警視廳に屆出たり
一本多副會頭令孃の御永眠に對し常置員會を代表して書記より吊辭を贈呈すること
一廓清會より依賴の件左に
常置員の方は可成贊助員(二十五錢宛)として御加入を願度事
一島田三郎君令息御病氣見舞として植木を贈呈することは守屋姉に依賴す
一愛隣社を愛隣女學と改稱す委員を小崎千代子三浦てい子、ミスパンファインド、諸姉
終りに會頭よりのもてなしあり六時半散會

○麴町支部

十一月七日午後二時より府下千駄ケ谷町土居通豫氏宅に於てグリゴレー氏の歡迎を兼て麴町支部の親睦會を催し矢島會頭司會の許に讃美祈禱を以て開會グ氏は公娼に關し諸姉の御意見は全廢說なるか將た吉原移轉說なりやと尋ねらるゝ會頭は一同を代表して挨拶と共に勿論全廢なりと答へらる
同日は土居令夫人が手づから熱心に栽培せられし菊花の眞盛りにて恰も我等と心を同ふして歡迎親睦の意を表するが如く夫人が斯る美花を得んがために盡さるゝ辛勞は子女を教育せらるゝと變る事なく殆んど日夜念頭より放れし事なしと說明せられ感嘆の內に菊畑を後に一同の撮影ありて同夫人の御好意になれる晩餐の饗應を受け愉快に充て散會せしは六時なりき集會者約三十名、此日御親切に通譯の勞を執られしは杉本姉なり

○會員の消息
一島田三郎君令息は先頃よりチブスに罹られ目下自宅御療養中なり
一中澤とう子姉(會計)は過日狂犬に咬まれ白金臺町

傳染病研究所にて御治療中
新入會員、田村まさ子麹町區下六ノ六

◯大阪

第拾貳回年會執行順序

日時　十二月二日（土曜日）午前九時半開會
場所　中之島六丁目　大阪婦人矯風會事務所

午前

一新禱會十五分間
一各教會委員點呼
一報告各課長並役員
一花之課　緒方千重子
一教育課　細合はつ子
一風俗課　馬場松惠子
一傳道課　二宮わさ子
一母の課　杉田いそ子
一安息日學校並少年課　西野さた子
一軍人課　藤本ます子
一安息日課　山口陽子
一交際課　大塚常子
一慰問課　緒方吉重子（石神八重子）
一平和課　森山のぶ子
一救濟課（婦人ホーム）　林より子
一書記報告　清水たね子
一會計報告（矯風會）　菊池しな子
一會計報告（婦人ホーム）　深澤ふく子
一所感　林歌子
一役員撰擧
一正午祈禱
　晝飯兼親睦會

午後二時開會

一新舊役員交迭
一課長撰擧の披露
一會旗授與式
一永眠會員追悼會
一本部役員の挨拶
一協議

明治四十三年十二月
交際課長　淺井泰子
風俗課長　名出昱子

林會長の奬勵

吾等每日神のため國の爲家庭のために何事を爲せしやと神の御前に祈る時唯此一事を務む即ち後にあるものを忘れ前にあるものを望み主キリストに由て天に褒美を得んと目標に向ふて前進せねばならぬ吾等本年中に

受けし惠みの數多きが中にもいとも恐き吾皇室に於せられても妃殿下の大患御平癒在らせられ國家無事平安なる事われら國民として感謝せねばならぬ今や隣邦支那の亂を見聞して幾多の人民苦痛を感ずるもの多し吾等は之を見ても己れの惠みを感謝すると共に更に人のためにも益を圖らねばならぬ又常に心の內なる惡の靈と戰ひ神の武具をもつて防禦せねばならぬ又矯風會員たるもの一人にても皆我なさずとも人ありと思ふ勿れ我一人にてもその幾萬分の働をなさんと心掛べし是團體に於る勢力の源なればなり又特に信者たる姉妹は如何なる困難に出逢ふとも決して遁れんとする事なく之を堪え忍びて成就なし得るの力を賜はらん事を神に祈れ是吾等に與へ玉へる神の特權にして大なる力なればなり

役員改撰

投票の結果左の如し

會長　林歌子　　書記　清水たね子
會計　菊池しな子　　會計　深澤ふく子

賞旗及賞品

賞旗は天滿教會へ　賞品　花之課々長故緒方八千代姉及九條教會委員瀨成田靜子姉へ授與せらる

新課長

花之課　緒方千重子　花之課會計慰問部石神八重子
軍人課　藤本ます子　吉本より子

追悼會

大阪教會員ホーム特別會計　櫻根きな子
約翰教會員約翰學園保姆　梅田ふみ子
約翰教會員ホーム理事花之課々長　緒方八千代子
約翰教會員　增田ゑす子
東教會員矯風會委員　濟本たき子
西美以教會員　岡田さい子

本年は永眠者の多き事特に有力熱心なる姉妹方を失なひし事は哀しき事に候へ共今や天の御座にありて神とともに吾等を守り玉へば吾等も亦彼の人たちが世に殘されし善き模範の跡をなし行なひて後日再び天上に見えなん事を希ふのみ

本部風俗課々長　名出いく子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

廓清會の件につき所感を述られ且つ當地に支部設立の必要を説き各教會に於て可成丈け多く會員募集せられん事を勸めらる

四十四年度第十二回年會報告

書記　清水たね

明治四十三年十二月より同四十四年十一月に至る

一　會員現在總數　五百拾弐名
　內譯通常會員　四百七拾一名
　　贊助員　四拾一名
一　本年中新入會員數　七拾七名
一　同　永眠會員數　六名
一　同退會及轉會者數　六拾九名
　差引　增加　弐名
一　定期集會度數　七回
　一月　新年會
　二月　紀念感謝會
　四月　母の會
　五月　少年大會
　五月　地久節祝賀會
　十月　新嘗會
　十二月　年會
一　特別集會度數　拾回
　役員課長委員慰勞會　弐回
　公開演說會　弐回
　ホームの友數入會　弐回
　大會報告會　一回
　ホーム理事會　三回
　外に役員會　數回
一　本會設立年月日　明治廿二年五月廿八日
一　附屬婦人ホーム設立　同四十年五月廿八日
一　同財團法人許可年月　同四十三年十二月
一　事務所及ホーム現在地　北區中之嶋六丁目六
一　矯風會員を有する教會　二十三
一　婦人新報購讀者數　弐百二十册
一　同　寄附數　壹册
一　書記より本部へ通信　八回
一　請願書記名調印數　弐百五十名

主なる働き

ホームの働き、花の課の慰問風俗課の廢娼運動少年部禁酒軍の働き母の課傳道課教育課等にして林會長は

市内九十五の小學校を逐一慰問なし各校に聖書三冊婦人新報一冊宛寄贈せられき
九月臨時理事會を開き故緒方八千代姉の補缺選擧を行ひ投票結果息女千重子姉推薦せられ會計は深澤ふく姉任選せらる
十一月天長佳節に當りホームの成績を良とせられ内務省より金四百五拾圓下附せらる

花の課報告

慰問せし病院數	一〇
自宅に慰問せし數	五
慰問せし孤兒院數	五
慰問せし養老院數	一
患者總數	七一
孤兒并老人數	四二七
寄贈せし物品數	九二一
同聖句カード數	三〇一
同　花の數	一七
雜誌并に書籍數	四四八
衣服の數	一〇

課長　緒方八千代

安息日學校課並に少年課報告

代　千重子

當課の働きとして例年の通去る五月十四日(第二日曜)午後一時半より土佐堀青年會館に於て少年少女大會を開催せり清水芳吉君司會小妹開會の辭を述べ夫より各教會日曜學校より來集せる少年少女の唱歌演説對話等約廿番ありたり其間に日曜世界主筆西阪保治氏の生命の綱と題せる面白き而も敎訓に富める話あり終りに一同君が代を合唱し津久井牧師の祝禱を以て閉會せり當日は大雨なりしにも拘らず會するもの五百餘名にして盛會なりき

當市内日曜學校内に少年禁酒軍の設あるはウヰルミナ日曜學校外二三校に過ぎざれ共結果は何れも良好にして父兄の禁酒せる美談も少なからずウヰルミナ日曜學校少年禁酒軍に於ては誓約せるもの約貳百名あり該軍隊の動作に就ては時々參觀して其必要を感ぜられたる人士もあり何卒各校内に於て悉く其設立を見ん事を希望す」當課は何れも少年少女間に於ける働に從事す

る者なれば彼等の現在及將來に就て熱誠なる御祈禱あらん事を切願する者なり

課長　西野貞子

其他傳道課、風俗課、敎育課、母之課、等の報告は何れも毎時婦人新報に掲載せられたれば此に略す

婦風會々計決算

收入總高

一金五百五拾四圓六拾五錢也

内譯

一金四百四拾九圓　會費收入
一金六拾八圓九拾五錢　會員臨時寄附
一金貳拾五圓九拾錢　大會の時集金
一金拾圓八拾錢　地代

支出總高

一金四百九拾五圓七拾九錢

内譯

一金壹百三拾七圓　毎月雜誌二百廿部代
一金七拾貳圓　本部書記手當に送る
一金拾圓八十六錢　花の課雜誌代
一金四拾圓九拾五錢　風俗課働の爲
一金貳拾八圓〇七錢　交際課
一金拾六圓拾五錢　少年課菓子代
一金拾四圓三拾七錢　母の課
一金四圓六拾五錢　傳道課
一金三拾四圓〇六錢　婦人ホームへ補助
一金貳拾五圓八拾錢　印刷物代
一金拾圓三拾貳錢五厘　新聞廣告代
一金五拾六圓五拾九錢五厘　郵税車代其他雜費
一金三拾圓　本部へ義務金
一金拾五圓　本部へ大會費

外に

一金五拾五圓七拾四錢　敎育課特別寄附支出

差引殘高五拾八圓八拾六錢也

會計　菊地志奈子

十一月新入會員

大阪　尾崎いち子　大坂　湯崎千枝子
大坂　櫻根こう子　大坂　淺井政榮子
天滿　今井ゆう子　天滿　服部菊重子
天滿　白戸ひさ子　天滿　緒方幸子
天滿　谷口信子　天滿　阪本こと子
天滿　阪本しける　天滿　濵田みつ子
西　廣瀬靜江子　西　島潟ゐい子
西　松本くす子　北　伊達深江子
北　榎本萬野子　北　今井せい子
北　上領ふみ子　北　山本まり子
約翰　緒方しけ子　約翰　渡邊ます子
保羅　小林とみ子　三一　深澤ひさ子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

三一　深田しけ子　城南　淺野そわ子
西美以　須郷もと子　西美以　近藤つる子
北　池田こと子　年會入會
〆貳十九人

○金澤

前文略……小妹は至て不肖のものに御座候得共當金澤婦風會支部長の榮職を汚し居り候ものに御座候當地は日本全國五十有余の支部中最微力のものにて人口十萬有余を有する北陸の一大都會なるに會員の名簿を有するもの僅に二十名に過ぎずして而かも毎月の例會には大抵七八名の出席者有之候程の微々たるものにて誠に他地方の御盛なる有様を見聞するにつけいつも浦山敷且つ我等の無能なるを嘆息致し居り候

明治四十四年も余す處僅に一ケ月にみたざる斗りに相成り我等一同一年中の怠慢なるを大に後悔致し去る四日今年中の納會として聊か奔走致し候處意外の好結果を得一同欽鑑雀躍致し主は我等の失望の曉に我等を助け勵ましたまふ事を感謝致し候即ち其會には拾名以上の小學校教師其他に内外人三拾名都合四拾名以上の集會にて金澤病院内科部長佐々木と申すドクトルの衛生講話を聽聞致し候當日誓約書をとり入會せし者七名實に近來になき好結果を得候來春は一層新しき主の力を得て活動可致と希望致し居候我が金澤にして今少し邊陬の地てなくせめては東京より一日旅行位の位置ならば折々名士の御援助を仰ぐ事も得嘸好都合ならんと愚考致し居候々云

○訃音

藤岡支部長大戸きし子姉の御良人は去月廿三日永眠せられました

横濱支部長二宮姉令息勝雄君は窒扶斯のためにあたら蕾の花を折られ去月十三日神のみもとに逝き給ひました未だ壯年の御身にて少年部の發展に力を盡し日々自らを修養せられし點に至りては老者の却て耻づる所多く年僅に十七才と聞きぬ今同君がものせられし日記の一二を御紹介致します

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一月十八日「誠實、眞面目は實に大切な事ぞと思ふた、木村健君を見よ少しも高ぶる所がない、が人々から畏敬を受けて居るのではないか之れ眞面目だからだ」

三月十九日の日記に

「僕は實に我修養の足らざるを思ふ、日々聖書を讀み、絶えず神と交つて神の前に大なる人物となりたい」

六月五日

「五時教會の人々は歸る僕は一人教會に殘つて聖書を讀み祈をした、」

同君は實に柔順なる人の子となり忠實なる學生となり仰信あつき神の僕たりし事は疑ありません可惜、

田中さだ子姉の永眠、日露戰爭の時矯風會會員の一人として有ん限りの力を盡されし看護婦田中姉は今回頓死否急に天國の召に應じました、去月十五日姉は河本眼科病院に勤務中頻りに山室大佐の說教を聞かん事を望まれ友人と市ケ谷見附に至る途中姉が自身の信仰經驗談をすつかり語られ終るや俄に倒れしとか

本部副會頭本多姉令孃しづ子姉は醫藥効なく永眠せられ明十日午後二時長者丸メソヂスト教會にて葬儀御執行の由昨年もまた今年もかゝる事とて本多姉の御心中只御察し申上る外はありません

天は之等有爲の方々を召し給ふも深き御心尊き御眞理ありての事と深く思慮して主の御用に余念なくいそしみ度ものであります

○紹介

聖書いろはかるた

今回岡田甫影氏の考案にて紫明社より發行致しまするいろはがるたは聖句を拔萃し尚も注意して子供のためには至極よき玩具と存じます、定價貳拾五錢

御望の方は左記の所へ御申込被下は割引にて一個十八錢外に（郵送料四錢）にて差上ます

本郷區本鄉三丁目十八番地

木村榮吉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ジョン・バンヤン作　松本雲舟譯

小説

聖戰

解題及題詩

菊判クロス　三百九十頁
裝釘美麗　寫眞版卷頭

定價壹圓拾錢　郵税十二錢　市内四錢

天路歷程の姉妹篇で御座います。新年の御讀物として、基督敎の婦人方には、此書が壹番で御座います。

少女の情育

ウッド・アラン女史原著　布施とよせ著

定價三十五錢　郵税四錢

青春期に近づいた女子には、是非、生殖に關する智識を與へなければならぬとは、現今敎育家が一般に唱へらるゝ處てあります。然し是を如何なる方法にて知らしむ可きかに就ては、多くの困難があります。本書は性欲科學に精通したアラン女史の名著てありますて、此問題を少女に敎ふる爲に出來た本てあります。此本を十三四歳より十七八の少女に讀ませる事は、最も必要てあります。そして、これは、もつとも適切なそして最も危險のない方法なのてあります。

發兌　東京京橋尾張町　振替東京五五三　警醒社書店
東京本郷春木町　同支店

東京市京橋區西紺屋町二十七番地　株式會社秀英舍印行

復刻版 婦人新報 第4回配本〔第19～24巻〕
1985年10月25日 発行
定価 60,000円

発行者 船橋 治
発行所 不二出版(株)
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433
印刷所 ワールド印刷
製本所 青木製本
乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 015

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA